

「無償」公開中！

ACPA基準表 知識・能力編

検索

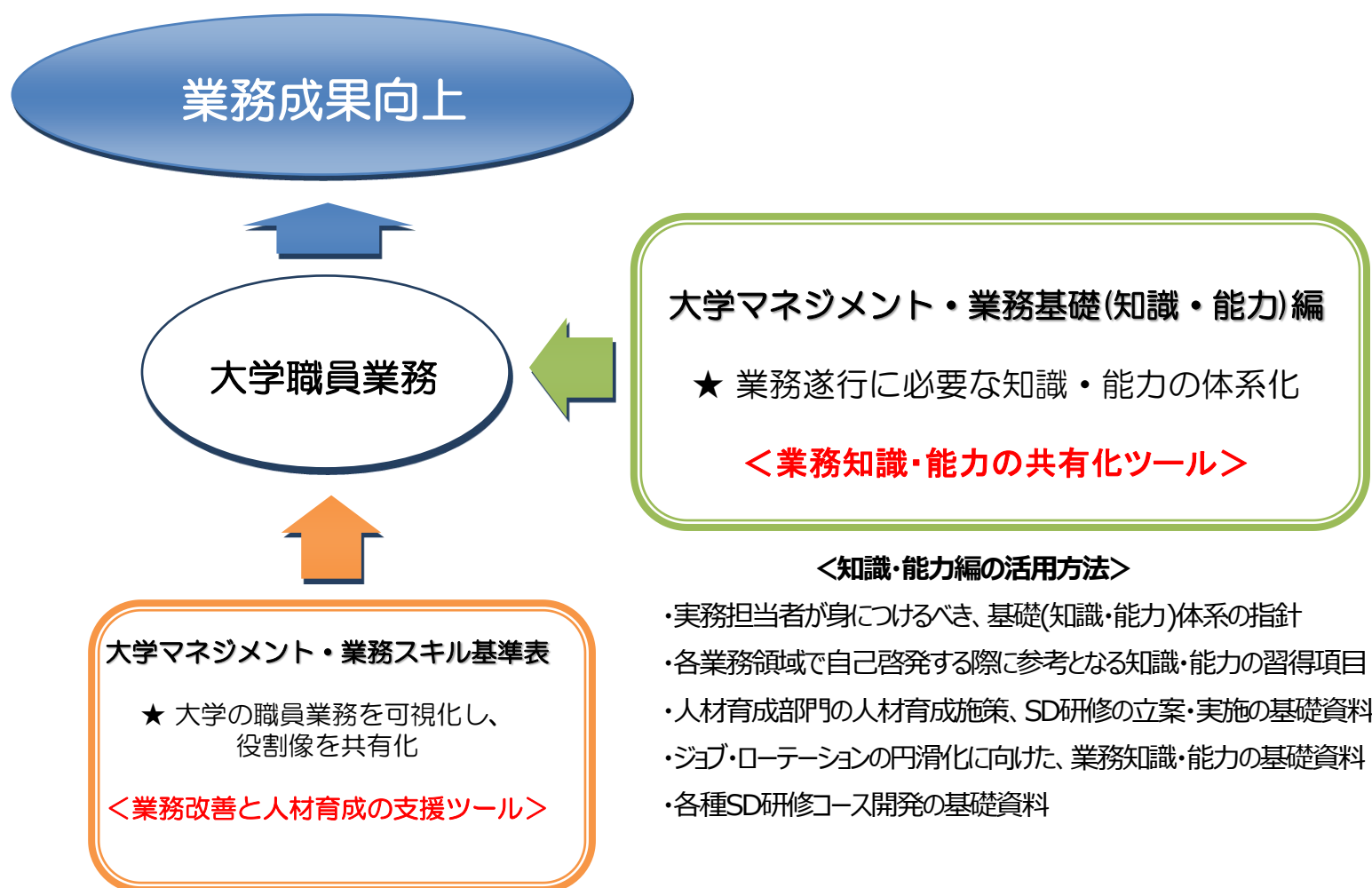
大学職員業務を支える知識・能力を 体系化のうえ見える化した共有ツール

従来から提供している「大学マネジメント・業務スキル基準表」に準拠し、大学職員が業務を遂行するうえで、保有すべき基礎的な知識・能力を体系化した、「大学マネジメント・業務/基礎(知識・能力)編」を公開しています。

この基準表は、カツモデルをベースに「ヒューマン・ナレッジ(人間力)」「コンセプチュアル・ナレッジ(企画・改革力)」「テクニカル・ナレッジ(業務知識・遂行力)」の3カテゴリで構成し、業務(仕事)を遂行する上で基礎となる知識・能力を体系化し、中項目～要素に分類整理したものです。従来の「大学マネジメント・業務スキル基準表」の各業務の中で定義されていた「知識項目」を大幅に拡充し補完するものです。

この基準表の活用により、大学業務を遂行するために必要となる基礎的な知識・能力体系の学内共有が可能となり、計画的な知識・能力の習得や人材育成部門での職員研修計画などに繋げることができます。

大学職員業務に対する役割像ならびに業務に必要な知識・能力を体系化した両基準表を、各大学の組織力強化、人材育成のツールとして大学関係者にご活用いただきたいと考えております。



<知識・能力編の活用方法>

- ・実務担当者が身につけるべき、基礎(知識・能力)体系の指針
- ・各業務領域で自己啓発する際に参考となる知識・能力の習得項目
- ・人材育成部門の人材育成施策、SD研修の立案・実施の基礎資料
- ・ジョブ・ローテーションの円滑化に向けた、業務知識・能力の基礎資料
- ・各種SD研修コース開発の基礎資料



特定非営利活動法人実務能力認定機構 (ACPA)

事務局長：内山博夫

大学マネジメント・業務/基礎(知識・能力)編の構成

| カテゴリ | 中項目 | 小項目 | カテゴリ | 中項目 | 小項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|------------------------------|--|--------------|---|------|--|----------------|--|---------|--|-----------|---------------------------------------|---------|---|------------------|--|-------------|---|---------|---------------------------------------|---------|--|--------------------------------------|---|--------|---|-----------|--|------------|--|---------|----------------------------------|---------|---|
| ヒューマン・ナレッジ(人間力) コミュニケーション | ビジネスマナーの基本 ビジネスコミュニケーションの基本 対人コミュニケーションの基本 対人コミュニケーションの要諦 イデオロギイ アンケート ネゴシエーション コンフリクトマネジメント フエシルテーション ビジネス文書 ビジネスアルドコミュニケーション ビジネスエメール 英文ビジネスエメール プレゼンテーション 英語のプレゼンテーション デベート クレーム対応の基本 コミュニケーション | ビジネスマナーの基本 ビジネスコミュニケーションの基本 対人コミュニケーションの基本 対人コミュニケーションの要諦 イデオロギイ アンケート ネゴシエーション コンフリクトマネジメント フエシルテーション ビジネス文書 ビジネスアルドコミュニケーション ビジネスエメール 英文ビジネスエメール プレゼンテーション 英語のプレゼンテーション デベート クレーム対応の基本 コミュニケーション | テクニカル・ナレッジ(業務知識・遂行力) 人事・労務分野 | 人事・労務分野 | 労務管理関係法令 人事制度 人事考課 職員の採用 派遣と業務委託 目標設定と評価 人材開発・育成 税金 社会保険 年金制度 健康管理 労使交渉 男女共同参画とダイバーシティ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 異文化コミュニケーション | 文化とコミュニケーション 対人関係とコミュニケーション 組織における異文化コミュニケーション コミュニケーション | 財務分野 | 簿記 学校法人会計 予算管理 検収 学校法人の税務 私立大学の財務分析 資金運用と金融市場 貸付審査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 英語によるコミュニケーション | 話すこと(Spoken Production) 書くこと(Written Production) 話すことの方法(Production Strategies) 聴いて理解する(Listening) 読んで理解する(Reading) 見て、聴いて理解する(Audio Visual Reception) 意味を把握する方法(Reception Strategies) 口頭で対話する(Spoken Interaction) 文書で対話する(Written Interaction) 対話の適用方法(Interaction Strategy) | 経営戦略 | 経営戦略とは、大学を取り巻く内外の環境変化に対して、積極的に適合し、大学を成功に導くためにどのような手段を講じるかを示したものであり、大学に開する人達の指針となり得るものをいう。この経営戦略は、市場環境の変化の中で大学組織が存続し、発展していくための中長期的な基本設計図でもある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | セルフマネジメント | 行動論理 ストレスコントロール 目標管理 | 競争戦略 | マーケティングの概念としての競争戦略について理解している。 アンゾフの戦略的経営、PPM(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)、ポーターのポジショニング・ビュー、バーニーの資源ベース・ビューなどの競争戦略の概念を理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | リーダーシップとフォロアーシップ | リーダーシップ フォロアーシップ | 経営戦略策定のプロセス | 経営戦略を策定する方法はさまざまあるが、代表的な手法について説明できる程度に理解している。 一般的な経営戦略の策定手順を下記に示す。 ①内外環境(強み、弱み、機会、脅威:SWOT)分析②重要成功要因(Critical Success Factors:CSF)の抽出③事業ドメインの再定義④競争戦略の選択(経営課題) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | マネジメント | プロジェクトマネジメント体系PMBOK PDCAマネジメントサイクル | 経営戦略の展開 | 中長期的視点から大学組織の全体最適を実現する有効な手法として普及してきたバランススコアカード(BSC)の考え方について理解している。 バランススコアカードの考え方での経営計画のPlan-Do-Check-Actionを回していけば、効果的で戦略的なマネジメントシステムとして機能するといわれている。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | コンセプチュアル・ナレッジ(企画・改革力) クリティカルシンキング | クリティカルシンキングの基本姿勢 論理的思考と論理的な問題解決 論理的思考と論理的な伝え方 論理的思考と論理的な文章作成 論理的な文章の読み方、書き方 | 学術情報分野 | 学術情報政策 資料選定・選書 発注・購入 目録作成 装幀・配架 補修・製本 図書館利用管理 蔵書管理 蔵書点検 展示・催物 オープンアクセス 貴重資料等デジタル化 リテラシー教育 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 企画・計画 | 企画立案 戦略立案 計画立案 | 各種調査とデータ分析 | 大学運営に関するデータや人材資源の現状、競合状況などさまざまなデータの作成手法を理解している。 揃えたデータを分析し、「本学の課題はどこにあるか」「10年後、20年後の業界予測」「他大学はどのような手法で事業運営を行っているのか」「今、集中させざるべき事業分野は何か」といった経営戦略の立案手法を理解している。 またデータからは読み取れない現場の声を汲みとるために、学内外へ向けてヒアリングし、それぞれが考える問題点、悩み、課題等も拾い上げて、経営戦略に盛り込むことができる。 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 情報収集・分析 | 情報収集と分析 アイデア発想法とアイデア選択 | 経営会議の運営 | データ分析をもとに経営会議に必要な資料作成、関係者との日程調整、事前資料の配布等、会議準備に精通している。 必要に応じて、経営陣へのプレゼンテーションを行うこともできる。経営陣からの容赦ない質問・意見が飛んできて論理的に答えることができる。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 統計学の基礎 | データの分布と指標 回帰分析と時系列分析基礎 確率基礎 推測統計基礎 実験計画 コンピュータを利用した分析 | インスティテューショナル・リサーチャー(Irер) | 教学および経営に関わる改善の意思決定や改革の検討課題に資することを目的に、教育・研究・学生調査・財務などの学内に散在するデータを、全学規模で組織的に収集のうえ分析し、報告を行うIR業務担当者であり、高度なスキルと幅広い視野が求められる職種である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | テクニカル・ナレッジ(業務知識・遂行力) 共通分野 | 大学の制度と社会的背景 高等教育の動向 大学設置に係る基本法令と大学規約 大学コンプライアンスと関連諸規約と法令との関係 教職位階 大学の情報発信 | 国際化推進分野 | 大学の国際交流支援 海外派遣留学生 入学留学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | IT活用 | コンピュータの基本 ネットワークの利用 情報倫理 情報セキュリティ 情報検索・文献検索 レポート・報告書の作成 データ分析入門 Web/パブリッシング入門 | 学生生活支援分野 | 正課外活動支援 学生福利厚生 障がい学生支援 学生の健康管理 学生の経済支援 キャリア支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 情報化推進分野 | 情報化戦略 業務の分析・評価・改善 システム開発 開発プロジェクトマネジメント システム監査 情報システムリスクマネジメント | キャンパス整備分野 | キャンパスEFM(ファンリテイマナジメント) キャンパスEFMの業務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 法人・総務分野 | 経営戦略 経営企画 インスティテューショナル・リサーチャー(Irер) 大学における法務 大学の収支事業 労働安全衛生管理 環境マネジメント コンプライアンスマネジメント リスクマネジメント 情報セキュリティマネジメント 業務監査 大学評価 ハラスメント防止 秘書 | 広報分野 | 大学広報の基本 報道広報 組織内広報 ネット広報 危機管理広報 広告 大学Webサイト管理・運営 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 学務分野 | 入学管理 学籍管理 卒業生支援 | 卒業生支援分野 | 卒業生支援 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 入試分野 | 入試政策 入試実施 学生募集 留学生(海外学生)募集 | 募金分野 | 寄付・募金 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地域連携分野 | 社会連携 産学官連携コーディネーター エクステンション事業 | 課題認識と情報選定 | 高等教育を取り巻く外部環境および大学の教学と経営に関する基本知識を有し、課題に対応する情報は何かを理解し、選定することができる。 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | データ収集・整理 | 基本的な情報の管理(学内外)と入手方法を熟知し、また必要な情報の調査能力にたけ、効率的にデータ収集・整理できる手法を理解している。 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | データの分析 | 統計解析ソフトウェアなどを活用したデータ分析手法を理解している。 | | |
| レポート・報告書作成 | 課題に対応させて分析結果を可視化するなど、報告目的に応じた文書作成形式を理解している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

スキル項目内容の構成例

| カテゴリ | 中項目 | 小項目 | 要素 | スキル内容 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|---|--------|----------------------------------|--|---|---|-------------|---|---------|--|------|---|------------|--|---------|---|------------|---|
| テクニカル・ナレッジ(業務知識・遂行力) | 法人・総務分野 | 簿記 学校法人会計 予算管理 検収 学校法人の税務 私立大学の財務分析 資金運用と金融市場 貸付審査 | 学校法人の運営管理、学外対応、全学的活動の推進等、学校法人の維持・発展行為全般を支援する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 経営戦略 | 経営戦略とは、大学を取り巻く内外の環境変化に対して、積極的に適合し、大学を成功に導くためにどのような手段を講じるかを示したものであり、大学に開する人達の指針となり得るものをいう。この経営戦略は、市場環境の変化の中で大学組織が存続し、発展していくための中長期的な基本設計図でもある。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 競争戦略 | マーケティングの概念としての競争戦略について理解している。 アンゾフの戦略的経営、PPM(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)、ポーターのポジショニング・ビュー、バーニーの資源ベース・ビューなどの競争戦略の概念を理解する。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 経営戦略策定のプロセス | 経営戦略を策定する方法はさまざまあるが、代表的な手法について説明できる程度に理解している。 一般的な経営戦略の策定手順を下記に示す。 ①内外環境(強み、弱み、機会、脅威:SWOT)分析②重要成功要因(Critical Success Factors:CSF)の抽出③事業ドメインの再定義④競争戦略の選択(経営課題) | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 経営戦略の展開 | 中長期的視点から大学組織の全体最適を実現する有効な手法として普及してきたバランススコアカード(BSC)の考え方について理解している。 バランススコアカードの考え方での経営計画のPlan-Do-Check-Actionを回していけば、効果的で戦略的なマネジメントシステムとして機能するといわれている。 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 経営企画 | 大学に関する諸データを収集・分析し、執行部が効率的な大学運営及び意思決定を行えるよう支援する。 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 各種調査とデータ分析 | 大学運営に関するデータや人材資源の現状、競合状況などさまざまなデータの作成手法を理解している。 揃えたデータを分析し、「本学の課題はどこにあるか」「10年後、20年後の業界予測」「他大学はどのような手法で事業運営を行っているのか」「今、集中させざるべき事業分野は何か」といった経営戦略の立案手法を理解している。 またデータからは読み取れない現場の声を汲みとるために、学内外へ向けてヒアリングし、それぞれが考える問題点、悩み、課題等も拾い上げて、経営戦略に盛り込むことができる。 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 経営会議の運営 | データ分析をもとに経営会議に必要な資料作成、関係者との日程調整、事前資料の配布等、会議準備に精通している。 必要に応じて、経営陣へのプレゼンテーションを行うこともできる。経営陣からの容赦ない質問・意見が飛んできて論理的に答えることができる。 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 経営戦略の立案・実施 | 経営会議で決まった方向性に沿って、中期(2~3年)、長期(5~10年)の経営目標を策定することができる。また、目標を実現するための具体策アウトラインも決定できる。 机上での企画と同時にここでも各現場とのネットワークを駆使して、調整を行う。具体策の内容によっては新規プロジェクトを立ち上げたり、外部とのアライアンスを模索する。 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題認識と情報選定 | 高等教育を取り巻く外部環境および大学の教学と経営に関する基本知識を有し、課題に対応する情報は何かを理解し、選定することができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | データ収集・整理 | 基本的な情報の管理(学内外)と入手方法を熟知し、また必要な情報の調査能力にたけ、効率的にデータ収集・整理できる手法を理解している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | データの分析 | 統計解析ソフトウェアなどを活用したデータ分析手法を理解している。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | レポート・報告書作成 | 課題に対応させて分析結果を可視化するなど、報告目的に応じた文書作成形式を理解している。 | | | | | | | | | | | | | |